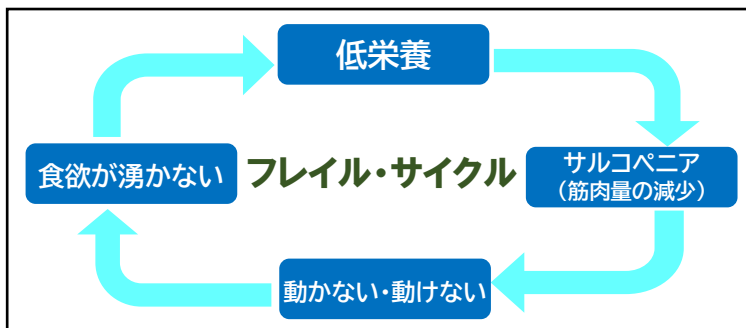


通所事業所での

栄養アセスメント・栄養改善サービスが始まりました

● 栄養アセスメントってどういうもの？

■65歳以上の方は、気付かずうちに体重が減少して体力が落ちるフレイル(心とからだの元気が減退する状態)になってしまふことがあります。フレイルが進行するとフレイル・サイクル(悪循環)が進み、低栄養の状態になってしまいます。そうなる前に早い段階で気づき、対応をすることで健康な状態に戻ることができます。そこで毎月、通所事業所において体重管理や食事の量の確認などさせていただいて、低栄養の早期発見に努めます。



高リスク

※ひとつでも該当すれば

- 体重減少率が高い
- 血清アルブミン値が低い
- 褥瘡がある

中リスク

※ひとつでも該当すれば

- 体格指数(BMI)が18.5未満
- 体重減少有り
- 血清アルブミン値が低め
- 食事摂取量が75%以下
- 経腸栄養、静脈栄養実施

低リスク

※全て該当すれば

- 体格指数(BMI)が18.5以上
- 体重変化なし
- 血清アルブミン値が正常
- 食事摂取量が76~100%

管理栄養士による栄養改善相談をおこないます

● 栄養改善相談(加算)ってどういうもの？

■栄養アセスメントにおいて、低栄養の危険があると判定された方に対して、管理栄養士がお食事に関する聞き取りを行い、3か月間の計画を立てます。月1~2回の栄養相談を行い、健康状態、食事状況の改善を図ります。

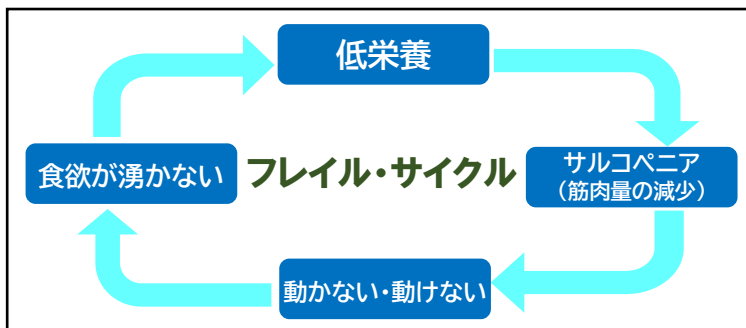


通所事業所での 栄養アセスメント・栄養改善サービスが始まりました

● 栄養アセスメントってどういうもの？

50単位（月1回まで）

■65歳以上の方は、気付かずうちに体重が減少して体力が落ちるフレイル(心とからだの元気が減退する状態)になってしまふことがあります。フレイルが進行するとフレイル・サイクル(悪循環)が進み、低栄養の状態になってしまいます。そうなる前に早い段階で気づき、対応をすることで健康な状態に戻ることができます。そこで毎月、通所事業所において体重管理や食事の量の確認などさせていただいて、低栄養の早期発見に努めます。



高リスク

※ひとつでも該当すれば

- 体重減少率が高い
- 血清アルブミン値が低い
- 褥瘡がある

中リスク

※ひとつでも該当すれば

- 体格指数(BMI)が18.5未満
- 体重減少有り
- 血清アルブミン値が低め
- 食事摂取量が75%以下
- 経腸栄養、静脈栄養実施

低リスク

※全て該当すれば

- 体格指数(BMI)が18.5以上
- 体重変化なし
- 血清アルブミン値が正常
- 食事摂取量が76~100%

管理栄養士による栄養改善相談をおこないます

● 栄養改善相談（加算）ってどういうもの？

200単位（月2回まで）3か月間
※要支援の方は月1回まで

■栄養アセスメントにおいて、低栄養の危険があると判定された方に対して、管理栄養士がお食事に関する聞き取りを行い、3か月間の計画を立てます。月1~2回の栄養相談を行い、健康状態、食事状況の改善を図ります。

